

第5学年 道徳指導案

平成29年度10月23日(月)

- 1 主 題 <A- (6) 真理の探究>
- 2 資 料 名 どうする? 「あかつき」チーム
出典 : 新モラルジレンマ教材と授業展開
- 3 本時の指導 失敗を恐れたり、人の目を気にするのではなく、本当に必要な事ならば信念を通してやり遂げなければならないことに気付かせる。

(1) ねらい

- 「あかつき」チームのメンバーの苦悩や気持ちを考える事を通して、本当に大切な事は何かを考え、諦めず自分の信じたことをやり抜く強さを養う。

(2) 準 備

説明写真、センテンスカード、吹き出しカード、ホワイトボード、ワークシート

(3) 指導過程

区分	学 習 活 動	指導上の留意点・支援
方向づける	10分 1 本資料を聞き、問題を考える。 ・ 諦めるか、続けるべきか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「あかつき」チームは再チャレンジすべきでしょうか。あきらめるべきでしょうか。</div> 2、自分だったらどうするか立場を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を配布する。 写真やセンテンスカードを提示する。 資料に興味をもたせるために、教師が重要な出来事は強調して読み聞かせる。さらに、説明を加えながら読み聞かせることで、よりの確に理解させる。 ワークシートにこの時点での自分の立場を書かせる。 手を挙げて、この時点での自分の考えを明らかにする。
価値の追究把握・自己の生き方の実感	25分 2 内容を整理する。 (1) 再チャレンジするための問題点 ・ 6年後にしかできない。失敗は許されない。 ・ 6年後では動かないかもしれない。 ・ 燃料がもつか分からない。 ・ 太陽の熱に耐えられるか分からない。 ・ たくさんのお金がかかる。 (2) 諦めることでの利点 ・ 他の計画で力を発揮できる。 ・ 有効に税金を使うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 再チャレンジするために満たさなければいけない条件を整理する。 論点を理解させるために、板書に整理して貼っていく。

		<p>3 働く人の思いを話し合う。</p> <p>(1) 少人数で意見交流をする。</p> <p><再チャレンジする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最後までやりぬきたい。 ・ 諦めたくない。 ・ 後悔したくない。 <p><諦める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お金ももたない。 ・ 世間からの目が怖い。 ・ 他のところで力を発揮した方がいい。 <p>(2) 全体で意見交流をする。</p> <p><再チャレンジする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 失敗するかもしれないけれど、最後までやり抜きたい。 ・ 失敗したとしても、最後までやり抜くことに意味があると思う。 ・ やらずに後悔するなら、失敗して後悔した方がいい。 <p><諦める></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなから集めた税金だから、みんなのためになることに使った方がいい。 ・ 自分の達成感のために、できるかできないか分からないことを税金でしてはいけないと思う。 ・ 他の研究があるのだから、そちらを優先させた方がいい。 <p>4 話し合いを通して、思ったことや感じたことをワークシートに書き、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームの一員だったらどんな気持ちになるか考える。 ・ 近くの友だちと意見交流をする時間を設ける。 ・ チームの人たちの「あかつき」にかける思いを理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な考え方ができるように、教師からの切り返しの発問を交えながら進めていく。 <p><「再チャレンジ」を選んだ児童に対しての切り返し発問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金を払っているのはみんななんだよ。自分だったら、それを応援できるかな。 ・ 失敗したらどうになってしまうだろう。 ・ 他にもたくさん研究や仕事があるんだよ。 <p><「諦める」を選んだ児童に対しての切り返し発問></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本当に後悔しないかな。 ・ 周りの目を気にして、自分の気持ちは大切にしないでいいのかな。 ・ 地球温暖化は食い止めなければいけない問題だよ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いを通して、自分の気持ちが深まったり、変化した事をワークシートに書き込むことで視覚的にとらえさせる。 ・ 書き出せない児童には、板書の意見を振り返るように声をかける。
まとめ	10分	<p>5 その後の「あかつき」について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ その後、「あかつき」の取組が続行されたことを知る。 ・ たとえ諦めることを選んだとしても、その考え方は間違っていないという事を踏まえながら話す。

